

文部科学省 研究開発学校指定 0年次:令和2年度延期(令和3年度~令和6年度)  
新領域「どう生きる科」を軸とした義務教育9年間のカリキュラム開発

# 自己実現へ向かう児童生徒の育成

新領域「どう生きる科」の学びと教科等の学びをつなぐ

**オンライン開催** 令和3年1月22日(金)  
**参加無料** 13:45~15:35

○全体発表(学校紹介) ○新領域「どう生きる科」実践提案 ○教科等実践提案



## 【研究開発課題】

予見不可能な未来を自分らしく生きるため、一人一人が「自分はどう生きるか」を問い続け、納得解や最適解を求め、**自己実現**していこうとする人間性と思考力の育成を目的とした義務教育9年一貫の教育課程の研究開発

## 9年間で育成する「**自己実現**に必要な資質・能力」

主体的な問題解決力	協働的な関係構築力	社会貢献する人間性
どんな状況でも自分を成長させるためには何ができるのかを考え、困難を乗り越えて行動することができる	他者を受容して共感的に理解し、他者と自分のしあわせのために何ができるのかを考え、行動することができる	自分らしさを生かし、他者や社会を受け入れ、自分と社会の未来に夢と責任をもって行動しようとする事ができる

## ◆全体発表 (13:45~14:05)

- ・学校長 挨拶
- ・学校紹介

本年度より義務教育学校となった本校の取組を紹介します。

新領域  
「どう生きる科」

新領域「どう生きる科」の学びと  
各教科等の学びをつなぐ

## ◆実践提案Ⅰ (14:05~14:35)

- ・新領域「どう生きる科」について
- ・実践提案

各教科

特別活動

新領域「どう生きる科」とは、「主体的な問題解決力」「協働的な関係構築力」「社会貢献する人間性」の3つ資質・能力を育成することを目指し、自分らしく生きることを探究する本校独自の領域です。道徳と総合的な学習の時間(生活科)の時間を充て、全学年で実施をしています。

## ◆実践提案Ⅱ (14:45~15:35)

新領域「どう生きる科」のカリキュラムとのつながりをつくるために、教科等において9年間で育みたい資質・能力を捉え直し、それを育むために必要な各教科のカリキュラムの作成、授業実践をしています。

教科等	主な提案内容
国語	これからの創造社会において、自らが言葉の使い手となり歩んでいく児童生徒を育成するために、言語活動の仕掛けやOPPA理論をもとにした学習方法、その9年間の系統について、実践を通して追究した。
社会	児童生徒が、主体的に社会的事象と向き合い、ともに生きる社会の創造に参画することができるように、各単元にテーマを設定し、「問い」を軸とした7年間のカリキュラムを編成し、実践を試みた。
算数・数学	自らの考えや意見を論理的に組み立て、また、その内容が真であることを根拠をもとに説明できる児童生徒の育成を目指して「論証する活動」に着目して実践を行い、9年間カリキュラムの編成を試みた。
理科	児童生徒が自然事象に対する問題を自ら探究することができるように、探究する楽しさをあじわったり、科学的に探究する力を働かせながら問題を解決したりすることができるカリキュラムの編成を試みた。
音楽	生活や社会における音や音楽の価値に気付く児童生徒の育成を目指し、[共通事項]を軸とし、系統性をもたせて題材構成を工夫した9年間カリキュラムの編成を試みた。
図画工作・美術	映像表現に親しむ児童生徒の育成を目指し、新しく映像領域を取り入れた実践を試み、学習内容を発達段階に応じて構成し、系統性をもたせた9年間のカリキュラムを編成した。
保健体育	児童生徒が、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するために、主に球技のゴール型種目における状況判断に着目し、9年間連続した学びとなるような学習形態の工夫やカリキュラム編成の工夫を試みた。
技術・家庭	<p>&lt;技術分野&gt; 第9学年で、他の内容の技術も含めた統合的な問題を解決ができるようにするために、第1学年からプログラミング的な思考の基礎を養っていけるようなカリキュラムの編成を試みた。</p> <p>&lt;家庭分野&gt; 第1学年から、学校生活での課題を見出し解決することで自立を目指すなど、9年間を通し、様々な場面において自分との関わりで最適な改善策を見つけることが出来るようカリキュラムの編成を試みた。</p>
外国語	どのような場面や状況でも即興的に自己を表現することができるように、目的や場面、状況等を工夫した言語活動や、異学年・国内外に広げた言語活動を位置づけ、9年間を見通したカリキュラムの編成を試みた。
健康教育	健康安全な生活を求め続け、実践する児童生徒の育成を目指して、安心・安全な学校生活を送るための9年間を通した保健・給食管理体制の整備、次年度健康教育指導計画作成に向けての実態把握を行った。
教育心理	児童生徒が、日常生活においてよりよい人間関係を構築するために、発達段階に応じて基礎となる社会的能力を育成する体系的な取組に着目し、カリキュラムの編成と実践を試みた。
特別支援教育	児童生徒が願いをもって、周囲の環境とかかわりながら新たな体験をしたり、自分の好きなことを追求したりする主体的な姿を目指し、新領域「どう生きる科」における探究的な活動の在り方を、実践を行いながら検証した。

- ・令和3年1月19日(火)までに、本校HPにある申込みフォームまたは右のQRコードからお申込みください。参加は無料です。
- ・ミーティングソフト「Zoom」で開催いたします。後日メールにて、ミーティングIDやパスコード等をお送りします。
- ・令和3年1月20日(水)16時~17時に、接続確認を行いますので、「Zoom」の接続に不安のある方はご利用ください。
- ・今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、変更が生じた場合には、本校HPでお知らせいたします。

